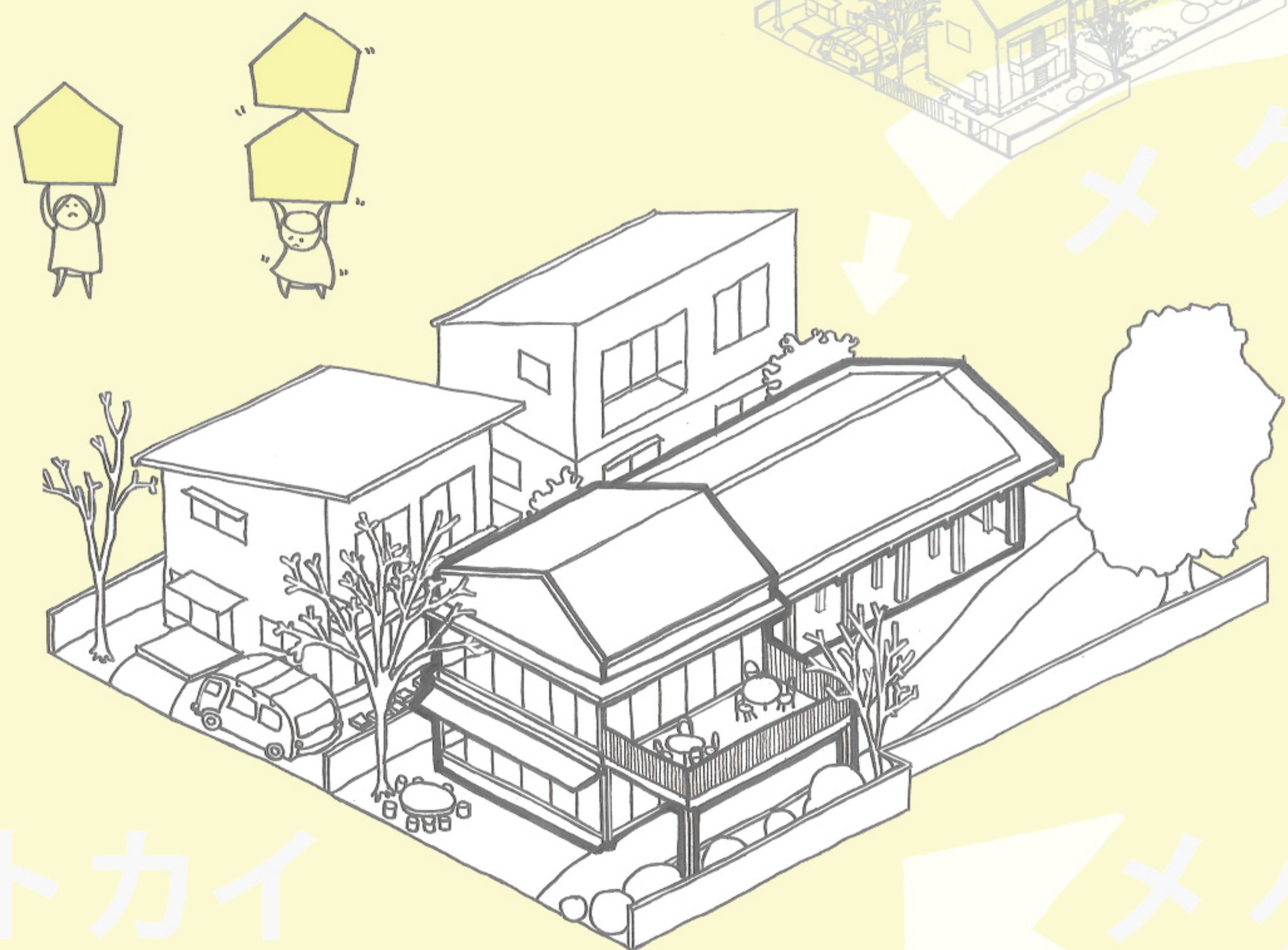


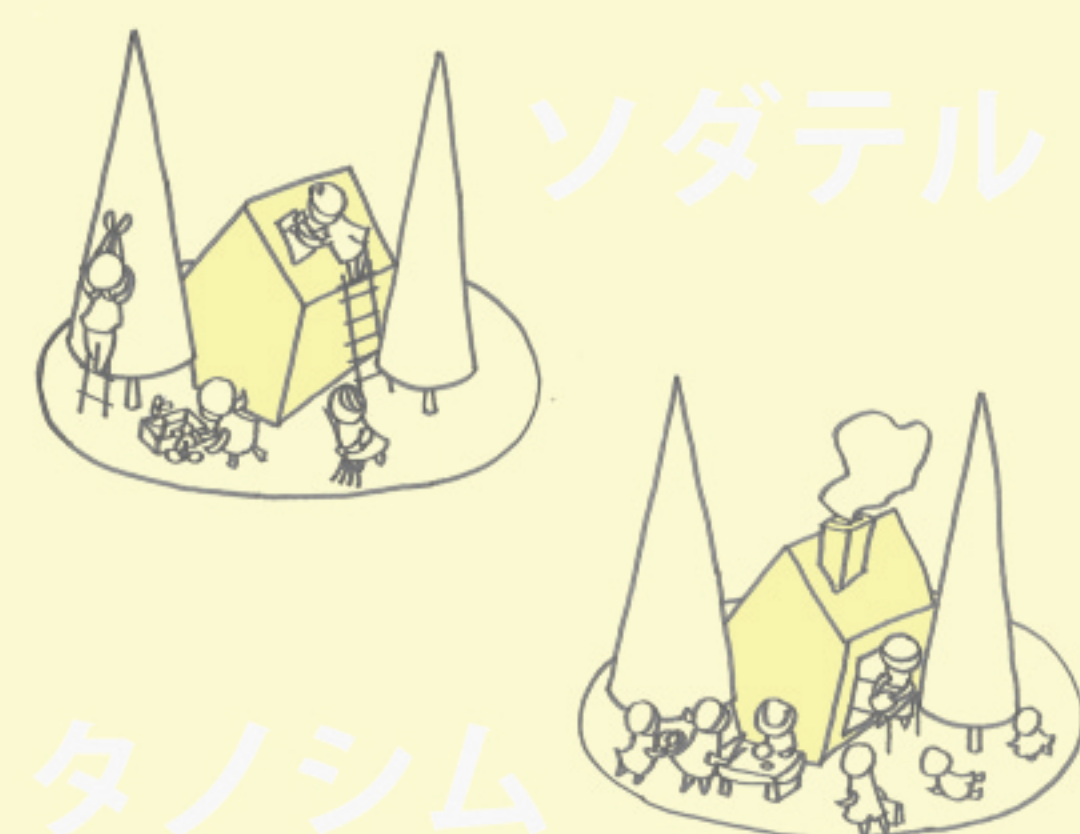
二つのイエをもつ時代の到来を楽しもう！

～チイキのイエをもつこと。友好チイキをもつこと～

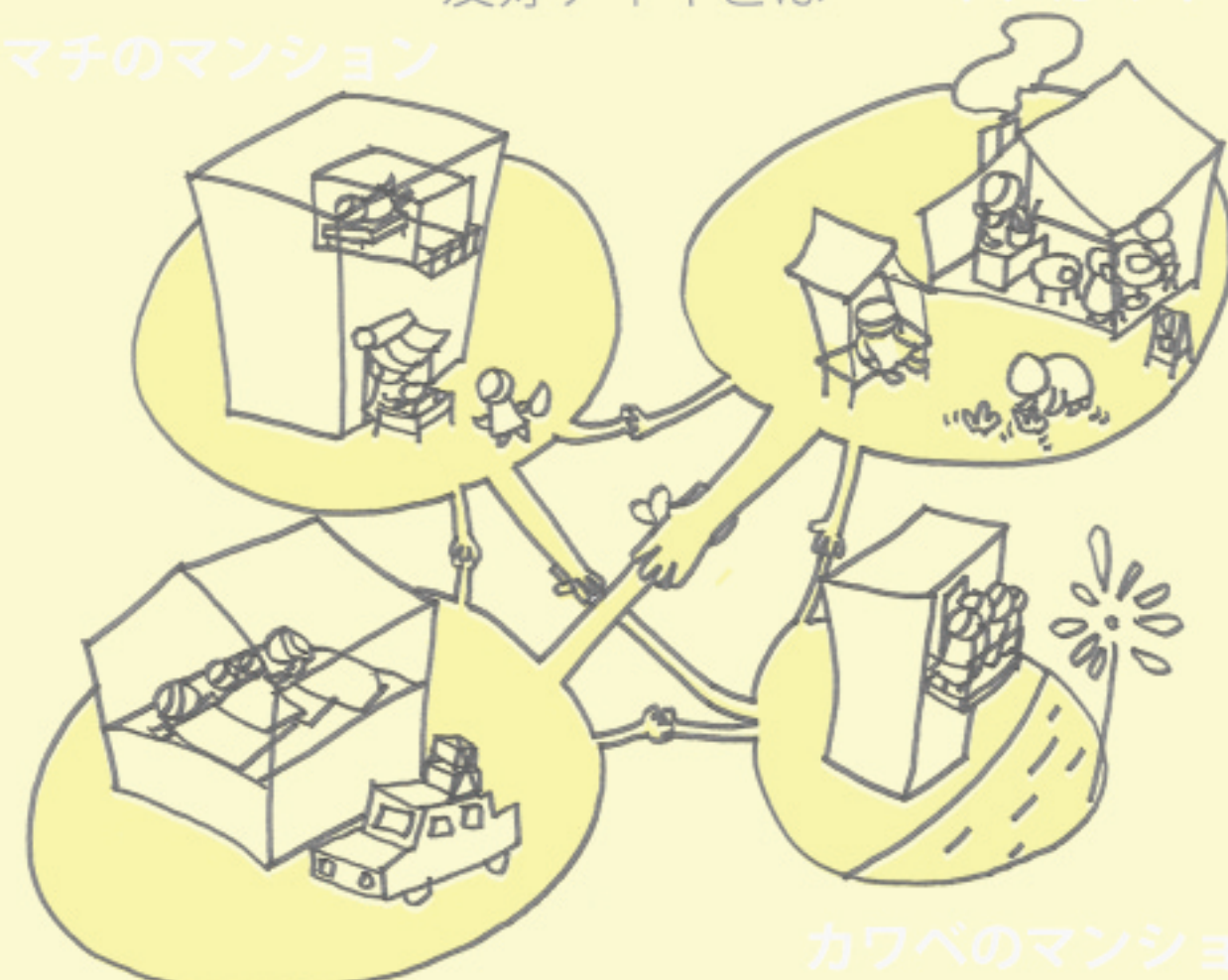


★ 上部の絵は参考例である。都会の住宅地域 皆が気軽に入れる場にリノベーションした案である。安全面や交流を考えて全面オープンな形状にしている。左の建物は維持を簡略化する為に、扉、外壁を外しただ屋根がある建物にした、お祭りの時の寄り場や保育園の立ち寄り場などに使用してもいい、左の建物は一人老人が集まり食事をし、親が帰宅するまで子供の面倒を近所の老人が見たりしてもいい。親戚の宿泊所や、友好チイキから来た人々が夏期講習や就職活動の為の宿泊所になってもいい。友好チイキのものを売る場になってもいいかもしれない。

一軒は地域で維持し活用しましょう。



友好チイキとは イナカのイッケンヤ
マチのマンション



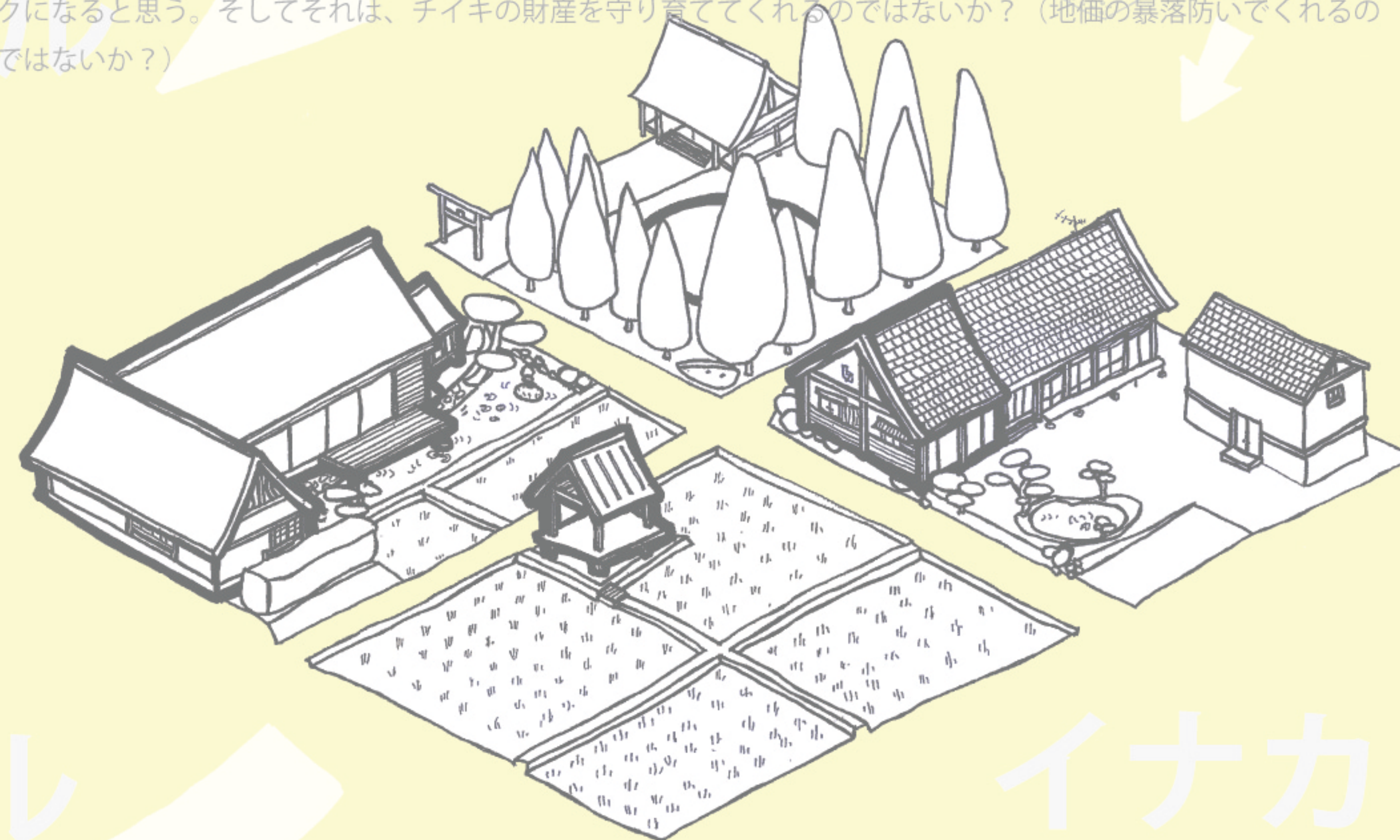
ジュウタクチのイッケンヤ
チイキとチイキを繋ぎましょう。田舎の親と都会の子が行き来する
ように、ゆるやかに田舎は都会に、都会は田舎と繋がるように

チイキで家を譲り受け、チイキを魅力的にする環境をチイキの人々
で育てましょう。そして十分活用しチイキ生活を楽しみましょう。

二つのいえを持つことになることがある、別に住む親が亡くなり家と今住む家を同時にもつ事になることが、それを維持できるだろうか、または売れるだろうか？

チイキにイエを譲り、魅力あるイエとして育て、引き継いでもらう。代わりにチイキの人々に喜んで戻れる（遊びにいける、チイキの人々と交流ができる）環境を用意して貰う。イナカをもつこと、いくつかの地域を行き来き、経験することは重要である。また、普段住むチイキの「チイキのイエ」を育て、そこに出会った別のチイキの人々を呼び、交流、縁を深める、親がつくってきた縁、そして親、一族が育ててきた環境を知る事、日本のいろいろな面を知る事は重要だし幸せではないだろうか。

育てる環境を持つことがチイキの人々がヒトツのムラ、イエとしてつながり、老人は子を、子は老人を助け生活する。関係性を育てる場をつくること、そして、チイキの魅力をつくることが、これからの時代の重要なストックになると思う。そしてそれは、チイキの財産を守り育ててくれるのではないか？（地価の暴落防いでくれるのではないか？）



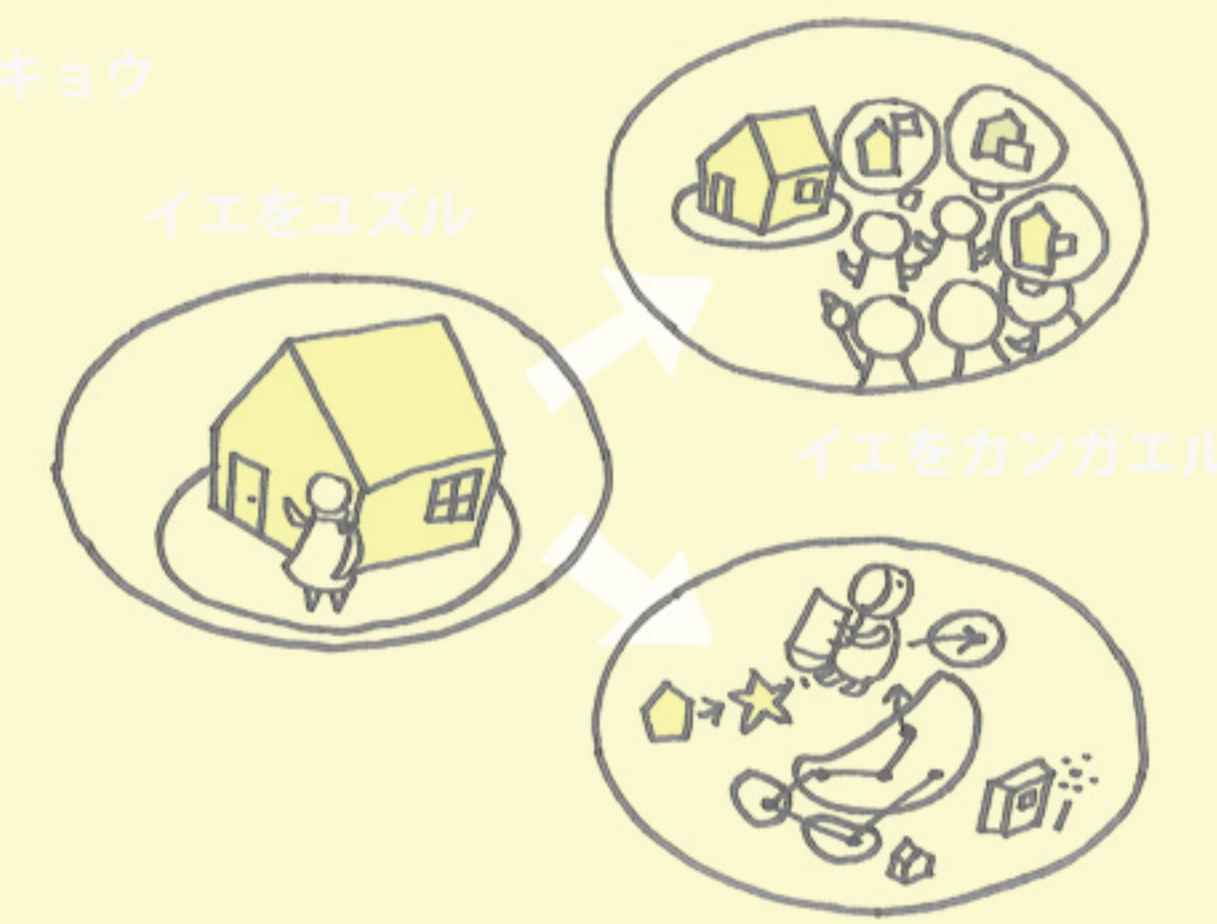
★ 上部の絵は参考例である。田舎、農村地域 その地域に昔からある家 / 農村文化を体験できるようにした案である。近代的なものは外し、設備も外し、電氣的な維持がかからないようにした家である。自分の家だと嫌だろうが、時々古い暮らしのある家で過ごしてみたいものもある。左家は古い住まい。右家は使われなくなった空間を大きなキッチン付きの室にした。地元の人が集まり料理教室をしてもいいし、友好チイキから来た人が泊まり、簡易レストランを開いてもいい。下は櫓である。畑仕事の共通の休憩所にも、田舎の風景を楽しむ場にもなる。

友好チケットという制度



友好チイキ内でのみ通用するチケット、チイキに貢献／労働
すると貰え、チイキ内の施設を利用するとチケットを渡す。

イエを友好チケットに変えて、
友好チイキを巡る遊牧生活を送ろう。



家を譲り、遊牧民になろう。
家を譲り受け、地域にあった環境に育てあげよう。